

定例記者懇談会次第

令和5年1月27日(金) 午後1時15分
牧之原市役所榛原庁舎5階・庁議室

1 開 会

2 市長説明

- ◇ 市政について 資料なし

3 質疑応答

4 報道提供資料

- ◇ 令和4年度第1回牧之原市総合教育会議の開催について 資料1
- ◇ 市消防団女性消防隊作成の「これなら ♪ Book」の発行について 資料2
- ◇ コンビニ交付の証明書手数料を100円減額 資料3
- ◇ 市教育・保育施設等事故検証委員会の開催について 資料4
- ◇ キャリア教育優良教育委員会に関する文部科学大臣表彰について 資料5
- ◇ 学校再編の取組が『マニフェスト大賞2022』東海選抜に認定されました 資料6
- ◇ 市図書交流館企画展の開催について 資料7
- ◇ 防災事業に関するB&G財団との協定書締結及び配備機材お披露目式の開催について 資料8
- ◇ 坂口谷川河津桜祭の開催について 資料9

5 懇 談

6 閉 会

次回記者懇談会 令和5年2月24日(金) 午後1時15分～

(施策、イベント、行事等の名称)		問い合わせ先
令和4年度 第1回牧之原市総合教育会議の開催について		牧之原市 総務課 担当：瀧口 恵 電話：0548-23-0050
日 時	令和5年2月13日（月） 午後2時から	
場 所	牧之原市役所 榛原庁舎4階 会議室	
主 催 者 又は担当課	総務課	
(内容)		
令和4年度第1回の牧之原市総合教育会議を下記により開催しますので、よろしくお願い申し上げます。		
記		
1 日 時	令和5年2月13日（月） 午後2時～午後4時	
2 場 所	牧之原市役所 榛原庁舎4階 会議室	
3 出席者	牧之原市長 牧之原市副市長 牧之原市教育長 牧之原市教育委員会委員（4人） 牧之原市菊川市学校組合教育委員会委員（4人）	
4 内 容	・キャリア教育を軸とした小中一貫教育について ・部活動の地域移行について	
(添付資料) なし		

牧之原市消防団女性消防隊が作成した「これなら♪Book」について

【目的】

牧之原市消防団女性消防隊では、声が届きにくい女性特有の被災リスクを周知し、女性自身が備える機会をつくることと、性別や年齢等関係なく誰もが有事も支え合える環境をつくることを目的に、ハンドブックを作成しました。

防災へのハードルを低くし、有事でも日常生活でも「これならできる！」と思えるものを目指して、「これなら♪Book」と命名しました。

【主な対象】

- ・10～40代の女性（内容は20～30代の女性が被災した場合を想定）
- ・「防災」を意識していない、備えたいけど手を付けられていない人

【発行部数】 4,000部

【内容】 ※別添冊子のとおり

被災時に最低限必要なもの、トイレに関すること、子どもに関すること、生理の備え、性被害 等（全16ページ）

【私たちがこだわったこと】

- ・一般的な「防災マニュアル」ではなく、自分で考え行動できるものを目指した。
- ・気軽さや身近さを感じられ、普段から活かせる心構えや智慧を盛り込んだ。
- ・被災時こそ声を上げづらい「生理」「性被害」を具体的に示し、女性の備えを促すとともに、周囲の理解や協力を促していきたい。（男性にも参考になるように。）
- ・性別関係なく当事者として考えられるよう、基本的な内容から始まり、次第に女性特有の問題に触れていく構成になっている。

【作成にあたってのアドバイザー】

- ・静岡大学教育学部教授 池田 恵子 氏
- ・アウトドア防災アドバイザー あんどう りす 氏
- ・弁護士 防災士 永野 海 氏

【今後の展開予定】

- ・出前講座の実施やイベント等での配布
- ・市内の店舗や施設等での配架

<p>(施策、イベント、行事等の名称)</p> <p>コンビニ交付の証明書手数料を 100 円減額</p>	<p>問い合わせ先 牧之原市市民生活部市民課 担当：紅林 電話：0548-53-2604（直通）</p>
<p>日 時</p>	<p>令和 5 年 2 月 1 日（水）午前 6 時 30 分から開始</p>
<p>場 所</p>	<p>コンビニエンスストアのマルチコピー機及び市庁舎のキオスク端末</p>
<p>主 催 者 又は担当課</p>	<p>市民課</p>
<p>(内容)</p> <p>令和 5 年 2 月 1 日より、牧之原市の「住民票の写し」と「印鑑登録証明書」をコンビニ交付で発行した場合、手数料を現在の 1 部 300 円から 200 円に 100 円の減額を行います。</p> <p>また、コンビニ交付の手数料変更のため、令和 5 年 1 月 31 日（火）は 1 日メンテナンスによりコンビニ交付を中止します。</p> <p>1. 事業目的</p> <p>庁舎窓口の混雑を緩和し、窓口の待ち時間の緩和を目指すため、コンビニ交付での「住民票の写し」・「印鑑登録証明書」の発行を推進する。</p> <p>2. 日時、場所、対象</p> <p>■日時：令和 5 年 2 月 1 日（水）から開始</p> <p>■場所：①コンビニのマルチコピー機 使用可能日 毎日（12 月 29 日～1 月 3 日およびメンテナンス日を除く） 使用可能時間 午前 6 時 30 分～午後 11 時まで</p> <p>②庁舎ロビーのキオスク端末 使用可能日 庁舎開庁日 使用可能時間 平日午前 8 時 15 分～午後 5 時、水曜日は 19 時まで</p> <p>3. 注意事項</p> <p>■コンビニ交付には、マイナンバーカードと利用者番号（数字 4 桁の暗証番号）が必要です。</p> <p>■コンビニ交付での「住民票の写し」には、マイナンバーと住民票コードは記載されません。</p> <p>■暗証番号を 3 回誤ると電子証明書がロックされます。ロックの解除には市民課にご本人が来庁する必要があります。</p>	
<p>(添付資料)</p> <p>・</p>	

(施策、イベント、行事等の名称) 牧之原市教育・保育施設等事故検証委員会の開催について		問い合わせ先 福祉子ども部子ども子育て課 担当：前田 電話：0548-23-0075（直通）
日 時	令和5年2月6日（月） 午後2時45分から	
場 所	牧之原市役所 榛原庁舎4階会議室（牧之原市静波447-1）	
主 催 者 又は担当課	牧之原市（子ども子育て課）	
<p>(内容)</p> <p>令和4年9月5日に市内の幼保連携型認定こども園「川崎幼稚園」においてバス置き去り死亡事故が発生しました。この重大事故について、再発防止のための事後的な検証を行うため、外部の第三者委員による事故検証委員会を設置します。</p> <p>この委員会は学識経験者、医師、弁護士、教育・保育関係者の重大事故に知見のある有識者で構成され、発生原因の分析を行うことにより、必要な再発防止策を検討し、提言を行うことを目的としています。</p> <p>委員会設置については、重大事故発生後に特別監査を実施し、勧告、その後の報告が終了した後に設置するため令和5年2月となります。</p> <p>委員会開催は令和5年2月～9月頃を目途とし、会議回数は4回～6回を予定しています。</p> <p>・委員構成</p> <p>(1) 教育・保育学識経験者 静岡県立大学短期大学部こども学科教授 永倉 みゆき (2) 安全管理学識経験者 常葉大学教育学部生涯学習学科教授 木宮 敬信 (3) 弁護士 静岡県弁護士会会員 丹羽 聡子 (4) 医師 榛原総合病院小児科医 金 憲徳 (5) 教育・保育関係者 (一社)静岡県私立幼稚園振興協会監事 相田 芳久</p> <p>・委員会設置の国通知 教育・保育施設等における重大事故の再発防止のための事後的な検証について（平成28年3月31日府子本第191号他）</p> <p>※委員会は非公開のため冒頭のみ撮影可でお願いします。</p>		
(添付資料)		

キャリア教育優良教育委員会として文部科学大臣から表彰されました

1 趣 旨

文部科学大臣が、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校及びPTA 団体等に対して表彰した。

2 今年度の受賞校等について

文部科学大臣表彰の受賞は、【教育委員会の部】全国で13 団体

3 牧之原市キャリア教育（起郷家教育）について

牧之原市の「起郷家教育」とは、「起郷家＝郷に学び、将来を見通し、自ら 行動を起こす」人材を育成するために体系立てられた、牧之原市版キャリア教育の総称である。

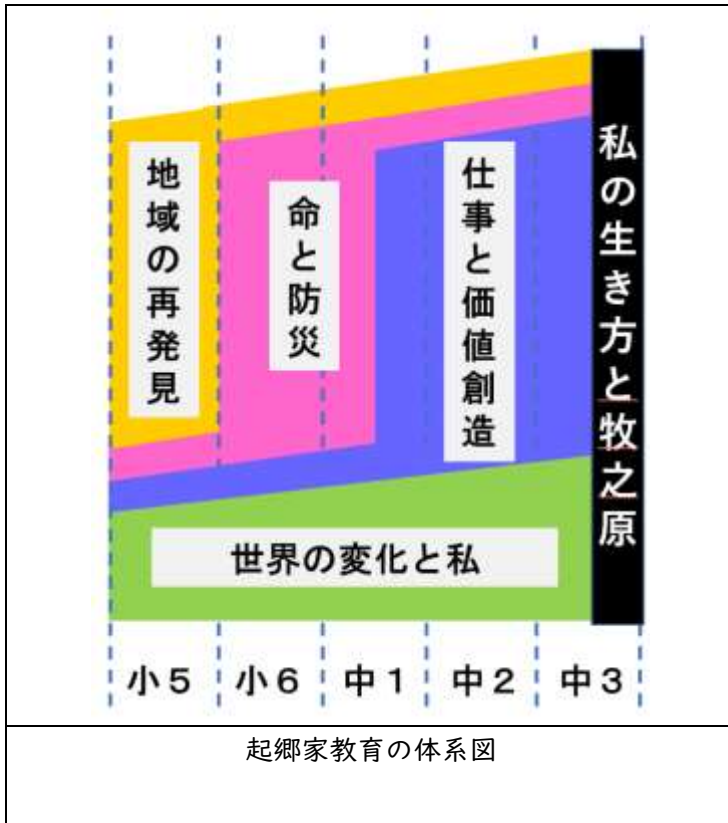
牧之原市では、義務教育9年間で育成すべき資質・能力を、発達段階に応じて系統的に整理し、特に小学校5年から中学校3年までは、中核となるプロジェクト型学習（Project Based Learning：PBL）を計画し、これを核としてキャリア教育を展開することとしている。PBLのテーマは「地域の再発見」（小5）、「命と防災」（小6～中1前期）、「仕事と価値創造」（中1後期～中3）、の3つのテーマを中心に学習は展開される。

PBLのプログラムの開発や実施については、静岡大学教職大学院と連携体制を構築した上で、令和3年度から「キャリア教育プロジェクト部会」を立ち上げ、理論的バックボーンを確立しながら推進している。

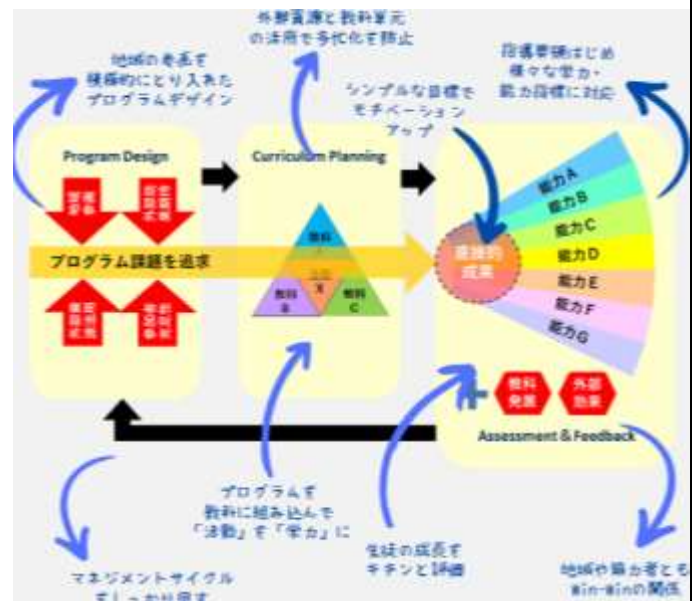
これら3つのPBLは、今後の社会で重要性が増す児童生徒の体験的な学びに重点を置き、学習指導要領で育成する資質・能力と共に今求められている基礎的・汎用的能力を養うものである。同時に、地域住民の学校教育活動への参画を高めつつ、教員の負担を軽減するための取組が進められている。

4 表彰式

令和5年1月19日（木）に実施された表彰式に参加



起郷家教育の体系図



理論的バックボーン (プリズムカリキュラム) のイメージ

プレゼンテーション資料 (例)

各学校でのポスター (例)

学校再編の取組みが「第17回マニフェスト大賞」東海エリア選抜に認定

1 概要

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取組みを表彰するものです。その中の1つの賞である、マニフェストやシティズンシップが推進された取組を表彰する「ローカル・マニフェスト大賞〈市民・団体の部〉」において、牧之原市教育委員会の学校再編の取組みが東海エリア選抜に認定されました。

- 応募総数 3,133 件
- 東海エリア選抜 32 件 うち、市民・団体の部 8 件

2 認定理由

自治基本条例や市民参加条例に基づき、平成29年度の「望ましい教育環境のあり方に関する方針」の検討から6年の歳月をかけ、審議会、意見交換会、アンケート、説明会など、さまざまな市民参加の手法により市民意見を集約して学校再編計画を策定した。

このプロセスが評価され、今回の認定となった。



牧之原市立図書交流館／静岡福祉大学地域連携推進センター連携事業
戦後77年企画・キンダーブックと昭和の子ども展

【内容】

『キンダーブック』は昭和2年（1927年）に、日本で初めての保育絵本としてフレーベル館より創刊されました。今回の展示では、『キンダーブック』と戦後日本との関わりを振り返ります。『キンダーブック』の複製本を展示しますので、実際に手に取ってご覧いただけます。この機会に昭和の時代を知ることができる貴重な資料をぜひご覧ください。

【展示期間】

令和5年3月1日（水）～3月30日（木）

【場所】

ミルクキーウェイスクエア（図書交流館いこっと カウンター前）

【イベント情報】

① 静岡福祉大学地域連携推進センター専門官 進藤令子氏による展示解説

日時：令和5年3月1日（水）午前10時30分から15分程度

対象：どなたでも（申込不要、無料）

※参加希望の人は、10時25分までに図書交流館いこっと 受付カウンター前に集合してください。

② みんなで楽しむキンダーブック講座 ～挿絵と童謡でふりかえる子どもの世界～

『キンダーブック』はたくさんの創作童謡にすばらしい童画を添えて子どもたちに届けていました。昭和の童謡を楽しみながら、当時を振り返ってみませんか。

日時：3月11日（土） 午前10時30分～午前11時30分

場所：ミルクキーウェイスクエア 芝スペース

定員：中学生以上 20人（事前申込必要、先着順、参加無料）

解説：進藤令子氏（静岡福祉大学地域連携推進センター専門官）

実演：山本敬子氏（布絵本作家・ピアノ教師）

申込方法：図書交流館いこっと・榛原図書館の受付カウンター、電話、FAX、メールで受付しています。

協力：株式会社フレーベル館／株式会社フレーベル静岡／メリーランド大学ゴードン W. プランゲ文庫(米国)、株式会社スーパーラック

牧之原市立図書交流館／静岡福祉大学地域連携推進センター連携事業

戦後77年企画

キンダーブックと昭和の子ども展

日時 令和5年3月1日(水)～3月30日(木)

火～金：10時～19時 土日祝日：10時～18時まで

休館：月曜・第三金曜日・祝日の翌日

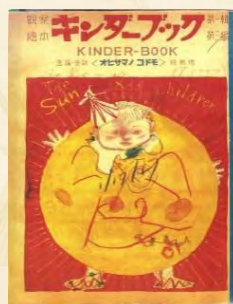
場所 ミルキーウェイスクエア内

図書交流館 カウンター前 (牧之原市波津3-11)



キンダーブック

出版社「フレーベル館」から発行
されている1927年創刊の月刊保育
雑誌の先駆けとなる幼児雑誌です



3月1日(水) 10時30分～(15分程度)

イベント1

進藤令子氏による展示解説を行います。

申込不要

ご家族、おともだちをさそって、いっしょに楽しんでみませんか。

3月11日(土) 10時30分～11時30分

「みんなで楽しむキンダーブック講座」

～挿絵と童謡でふりかえる子どもの世界～

イベント2

解説：進藤令子氏(静岡福祉大学地域連携推進センター専門官) 実演：山本敬子氏(布絵本作家・ピアノ教師)

場所：ミルキーウェイスクエア 芝スペース (事前申込制)

図書交流館・榛原図書館のカウンター・電話・FAX・メールにて、

お名前とご連絡先(電話番号)をお伝えください。

中学生以上
先着20名



①静岡ゆかりの幼児絵本キンダーブック：静岡福祉大学（進藤氏）所蔵

②日本占領期のGHQ（連合軍総司令部）の検閲とキンダーブック

日本で初めてマッカーサー元帥の伝記を出版した山崎一芳氏（掛川市）とキンダーブック

③キンダーブックでたどる昭和の時代



講師



進藤令子氏

静岡福祉大学地域連携推進センター専門官。

幅広い年代の方に楽しめる静岡ゆかりの戦後の幼児絵本や、障がいの有無に関わらずみんなが一緒に楽しめる『バリアフリー絵本』（同大図書館バリアフリー文庫所蔵）などを中心に、絵本の魅力を伝える活動を行っています。



山本敬子氏

島田市在、布絵本作家。ピアノ教師。読み聞かせ講師。

障がいのある方やご高齢の方にも役立つ、バリアフリー布絵本作家として多くの作品を創作されています。また、読み聞かせ講師として読書推進に関わったり、ピアノ教師として音楽の楽しさを伝える等、幅広く活躍されています。



牧之原市立図書交流館と静岡福祉大学地域連携推進センターは、連携事業として企画展「戦後77年 企画:キンダーブックと昭和の子ども」を開催します。

創刊95周年となる日本初の保育絵本『観察絵本キンダーブック』は、静岡県にゆかりがあり、日本のフレーベルと呼ばれる倉橋惣三氏とフレーベル館創業者の高市次郎氏が関わり創刊されました。

また、日本占領期では、マッカーサー元帥の伝記を日本で初めて出版したフレーベル館取締役の山崎一芳氏（掛川市出身）がGHQ（連合軍総司令部）との大きな関わりもあり、いち早く復刊を許可されました。静岡ゆかりの人物の熱意で誕生した幼児絵本。描かれている元気な子どもたちの姿をのぞいてみませんか。



協 力 株式会社フレーベル館／株式会社フレーベル静岡／
メリーランド大学ゴードン W.ブランゲ文庫(米国)
株式会社スーパーラック(牧之原市)

入場無料

【問い合わせ・申込み先】

牧之原市立図書交流館（牧之原市波津3-11）

メール：tosyo@city.makinohara.shizuoka.jp

電話：0548-23-7007

FAX：0548-23-7008

「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の 協定書の締結式および配備機材のお披露目式の開催について

(教育文化部スポーツ推進課)

1 経過

市は大規模自然災害などに備え、ブルー・アンド・グリーンランド財団 (B&G 財団) の助成を受け、令和 3 年度に防災拠点として必要な油圧ショベルやスライドダンプ、救助艇などの機材を整備するとともに、同年度から消防署等と連携して人材育成などの研修を実施してきました。

今回、市と B&G 財団では「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の協定書を締結するとともに、配備機材のお披露目式を開催します。

2 日時

令和 5 年 2 月 1 日 (水) 午後 2 時～午後 3 時頃

3 会場

静岡市消防局牧之原消防署会議室、防災倉庫前 (住所：牧之原市波津 191-1)

4 出席者

(牧之原市) 市長、教育長、関係職員

(牧之原市議会) 議長、副議長

(牧之原消防署) 署長

(B&G 財団) 菅原理事長、関係職員

5 式典内容

事業概要説明、協定書調印

B&G 財団理事長・市長 挨拶

配備機材お披露目 (デモンストレーション)

6 協定内容

防災拠点の設置、人材育成、災害時の相互支援体制など

7 配備機材等

油圧ショベル、スライドダンプ、防災倉庫、ホイールローダー、ドローンなど

※別紙「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業概要のとおり

8 その他

防災拠点は、全国で第一期拠点整備 (R3) に 25 箇所、第二期拠点整備 (R4) に 29 箇所整備されますが、**静岡県内で牧之原市が初めての自治体**となります。

**静岡県初！ 牧之原市に油圧ショベルやスライドダンプなどの機材を配備
「協定書調印式」および「配備機材お披露目式」を開催**

日時：2月1日（水）14：00～ 場所：牧之原消防署会議室

※配備機材お披露目式は、牧之原市B&G防災倉庫前

B&G財団は2月1日（水）、「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の協定書調印式および配備機材お披露目式を牧之原市で行います。

この事業は、災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災倉庫の整備、油圧ショベルやスライドダンプ、救助艇などの機材配備に加え、重機操作研修などの人材育成にかかる費用について支援を行うとともに、周辺自治体との災害時相互応援協定の締結など支援体制づくりを推進するもので、牧之原市には21年度から23年度までの3年間で総額3,900万円（上限）の支援が決定しております。

このたび、防災倉庫が完成し、油圧ショベルやスライドダンプ、救助艇をはじめ、災害用の水上バイク・小型油圧ショベル・ドローンなどの機材配備がすべて完了したことから、継続的な人材育成、周辺自治体との連携促進などを趣旨とした協定書の調印式と、配備機材のお披露目式を併せて執り行います。

なお、本事業は2021年度から開始し、これまでに35道府県54市町村への設置を決定し、静岡県では牧之原市に設置いたします。

地域における災害時の新たな支援体制づくりの話題として、ぜひ、ご取材賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

静岡県牧之原市「協定書調印式」および「配備機材お披露目式」

1. 日時：2023年2月1日（水）14：00～
2. 場所：静岡市消防局牧之原消防署会議室（牧之原市波津191-1）
※お披露目式は、B&G防災倉庫前（住所は同上）
3. 出席者：牧之原市 杉本基久雄 市長、B&G財団理事長 菅原悟志 ほか

以上

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

B&G財団 企画部 広報課 清水、岡田 TEL：03-6402-5312 mail：koho@bgf.or.jp
現地連絡先：牧之原市教育文化部 スポーツ推進課 政野 TEL：0548-53-2643



油圧ショベル（配備機材）

取材申込書

B & G財団 広報課 宛

F A X 03-6402-5315

誠に恐縮ですが、ご取材いただける場合、必要事項をご記入のうえ、ご送信くださいますよう、お願い申し上げます。

2023年1月 日

事業名	牧之原市 協定書調印式・配備機材お披露目式
取材日	2023年2月1日（水）14：00～
御社名・支局名	
記者名	お名前
	電話番号
	メールアドレス

※お手数をお掛け致しますが、1月31日（火）までにご送信ください。

※スケジュール変更等 緊急時のご連絡のため、携帯電話番号を記入いただくようお願い致します。

※ 問い合わせ先 B & G財団企画部広報課
(担当：清水、岡田)

東京都港区虎ノ門 3-4-10
T E L 03-6402-5312
F A X 03-6402-5315
E-Mail koho@bgf.or.jp

「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業(第一期)概要 (牧之原市)

本事業は、B&G財団の支援を受け、災害発生時の緊急対応に必要な防災倉庫の整備、油圧ショベルやダンプ、救助艇などの機材配備、また重機操作研修などの人材育成にかかる研修会を実施するとともに、周辺自治体との災害時相互応援協定の締結など支援体制づくりを推進するものです。

●機材配備(ハード事業)

【令和3年度】

支援金総額 30,000千円

【必須機材】

配備機材	数量
防災倉庫:約41㎡	1棟
油圧ショベル【現物支給】	1台
スライドダンプ【現物支給】	1台

【任意機材】

配備機材	数量
救助艇(水上バイク)	1台
災害用ドローン	1台
ホイールローダー	1台
小型油圧ショベル	1台
スケルトンバケット	1台
ヒッチメンバー	2台
タブレット端末	2台
簡易型ガス発電機	12台
救助艇(船外機付きゴムボート)	1地
配管用内視鏡スコープ	1台



防災倉庫



油圧ショベル



救助艇(水上バイク)



災害用ドローン



ホイールローダー



小型油圧ショベル



ヒッチメンバー



簡易型ガス発電機



救助艇(船外機付きゴムボート)

●人材育成(ソフト事業)【令和3年度～令和5年度】

研修支援金 3年間 総額 9,000千円

【令和3年度研修実績】(一部抜粋)

実施日	研修内容
令和3年10月28日～10月29日	小型車両系建設機械運転特別教育(整地用)
令和3年11月24日	重機操作研修①
令和3年12月5日	避難所研修(避難所開設訓練等)
令和4年2月4日	重機操作研修②
令和4年3月23日	救助艇(水上バイク)操作研修



牧之原消防署と連携した重機の操作研修

【令和4年度研修実績】(一部抜粋)

実施日	研修内容
令和4年6月24日	小型車両系建設機械運転特別教育(解体用)
令和4年7月7日～7月8日	小型車両系建設機械運転特別教育(整地用)
令和4年6月23日他	ドローン操作研修(2日間×3回)
令和4年8月26日	重機操作研修
令和4年10月11日～12日	救助艇(水上バイク)救助研修



牧之原消防署と連携した水上バイクの救助訓練

●災害時における配備機材の活用実績

令和4年9月、市内では台風15号の集中豪雨により中学校グラウンドに稲わらの堆積、竜巻突風により民家の倉庫の飛来などの大きな被害が発生しました。その復旧作業において、防災拠点として配備した重機を活用し、復旧作業がスムーズに行われました。

また、台風15号により県内の他自治体において、大規模な災害が発生し、近隣自治体「川根本町」への油圧ショベルやダンプの貸出しを行い、災害復旧に向けて周辺自治体との連携を図りました。



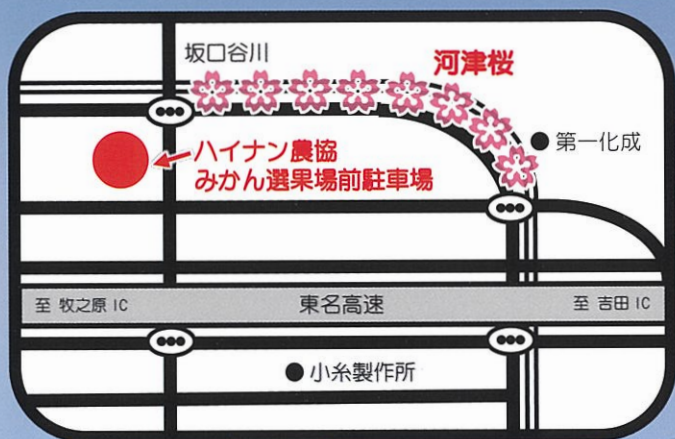
タイヤショベルによる稲わらの撤去作業 バルーン照明を活用した撤去作業 川根本町における重機貸出しによる災害復旧作業

坂口谷川 **2023** 河津桜祭



まつり期間: 2月18日(土)~26日(日)

期間中は夜間(17:30~20:30)に提灯点灯
(桜の開花状況により期間変更)



*** イベント ***

<日時>

2月23日(木祝日)・25日(土)・
26日(日)10:00~14:00

<会場>

ハイナン農協みかん選果場前駐車場

<出店>

軽トラ市、飲食物販売(キッチンカー等)

売り切れ次第終了



坂部区の中るキャラ
『さかべっち』



坂部まちづくり実行委員会 / 後援 坂部区
共催 榛原里やまの会・牧之原市商工会 坂部支部